



労働力確保支援 センターだより

第29号

発行：公益社団法人
福島県森林・林業・緑化協会
〒960-8043
福島市中町5番18号
(福島県林業会館内)
TEL 024-521-3270
FAX 024-521-3246
平成29年2月発行



ふくしまから
はじめよう。

Future From Fukushima.



写真説明：(左上)集合研修・緑の雇用2年生「間伐実習」
(左下)集合研修・緑の雇用1年生「安全な伐倒研修」

(右上)集合研修・緑の雇用1年生「造林実習」
(右下)集合研修・緑の雇用3年生「安全なかり木処理実習」

目次

平成28年度「林業事業体等における実態調査」より…	2	「森林の仕事ガイダンス2017」に参加 ……	11
平成28年度「新規就業者の就業実態と就業意識」より…	3	森林作業道作設研修会を開催……………	12
「緑の雇用」現場技能者育成推進事業について…	4	平成29年認定事業体現場作業員採用計画……	14
就労者のキャリア形成に向けての取り組み…	7	福島県認定事業体一覧表（流域別）……………	15
林業就業支援講習（13日間）を開催……………	8	福島県認定事業体位置図（流域別）……………	16

平成28年度「林業事業体等における林業労働実態調査」より

このアンケート調査は、毎年、林業雇用管理改善を効率的に推進するための資料とすることを目的として、全国森林組合連合会が実施しています。

47都道府県各林業労働力確保支援センター等が3事業体等を任意選定し計140事業体等を対象に、実施しています。

本県でも浜通り地方、中通り地方、会津地方から各1事業体、計3事業体で調査を行っています。

抽出での調査で、毎年の経年変化の把握の意図もありますが、全国の傾向を知る貴重な資料です。

今回は紙面の関係から、その一部を抜粋して内容を紹介します。

林業事業体等の概要

- (1) 調査対象の140事業体等に従事している役職員及び作業員の総数は4,747名となっています。

その内、作業員数は2,564名（54%）であり、1事業体等当たりの平均作業員数は18名となっています。

役 員	職 員	作業員	計
1,176名	1,007名	2,564名	4,747名

- (2) 事業体等の経営形態をみると、森林組合が46%、民間会社が49%となっています。

森林組合	民間会社	その他	計
64所	69所	7所	140所

高性能林業機械の導入状況等

- (1) 高性能林業機械は、調査対象事業体のすべてで保有していました。導入されている機械の内訳は右表のとおりです。

- (2) 高性能林業機械の活用に伴い、作業道の開設が必要となりますが、作業道を開設した事業体等をみると81%であり、総開設距離、1事業体等当たりの作業道距離は下表のとおりです。

開設した事業体等	開設作業道の距離	平均開設距離	未開設事業体等	事業体等総数
114所	1,112,758m	9,761m	26所	140所

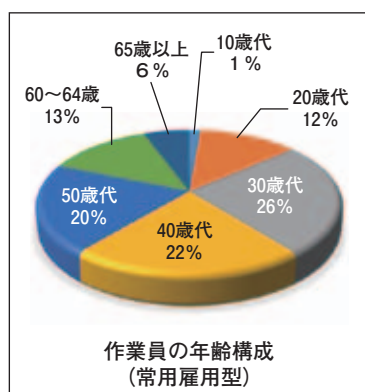
機 械 名	導入台数
グラップル	438台
フォワーダ	262台
プロセッサ	119台
ハーベスタ	113台
スイングヤーダ	90台
フェラーバンチャ	31台
スキッダ	12台
タワーヤーダ	7台
その他	140台
計	1,212台

作業員の雇用状況

- (1) 作業員の雇用形態をみると、常用雇车型は2,119名83%となっており、有期雇车型は319名12%、日雇型は126名5%となっています。

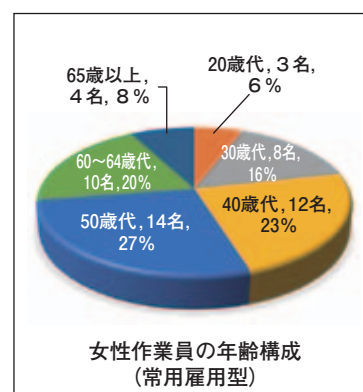
常用雇车型	有期雇车型	日 雇 型	計
2,119名	319名	126名	2,564名

- (2) 常用雇用の作業員2,119名の年齢構成をみると、30歳代が543名26%で最も多く、次いで40歳代の466名22%、50歳代が424名20%の順になっています。



- (3) 常用雇用の作業員の男女構成比では、男性2,068名98%に対し女性の割合は51名2%です。

年齢構成をみると常用雇车型では、50歳代が14名27%と最も多く、また、50歳以上の割合の合計は28名55%と全体の過半数を占めています。



平成28年度「新規就業者の就業実態と就業意識調査」より

この調査も、前頁同様に全国森林組合連合会が新規就業者141名に対して調査を行ったものです。本県でも浜通り地方、中通り地方、会津地方の新規就業者から各1名、計3名に調査を行っています。今回は紙面の関係からその一部を抜粋してその内容を紹介します。

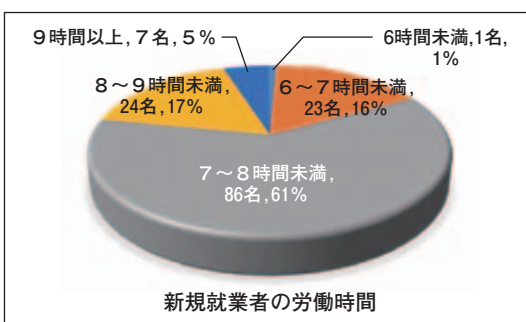
調査の対象（年齢構成）

- (1) 右表の年齢構成をみると、10歳代が7%、20歳代が34%、30歳代が31%と、30歳代以下の若年層が全体の約7割を占めています。就業の種類では、常用雇用型が89%を占めています。

10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳以上	計
10名	48名	44名	27名	11名	1名	141名

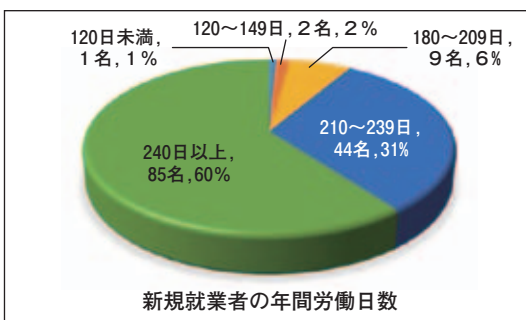
新規就業者の労働時間・労働日数・休日

- (1) 1日当たりの労働時間をみると、「7～8時間未満」が61%、「8～9時間未満」が17%、「6～7時間未満」が16%となっています。
- (2) 年間労働日数をみると、「240日以上」が60%、「210～239日」が31%と、「210日以上」が9割となっています。
- (3) 休日の状況をみると、「完全週休2日制」が14%と少なく、天候の影響を受けやすい仕事であることを反映しています。

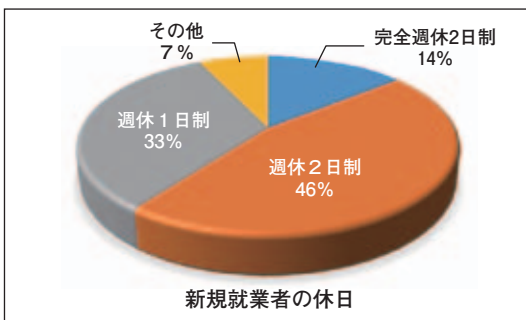
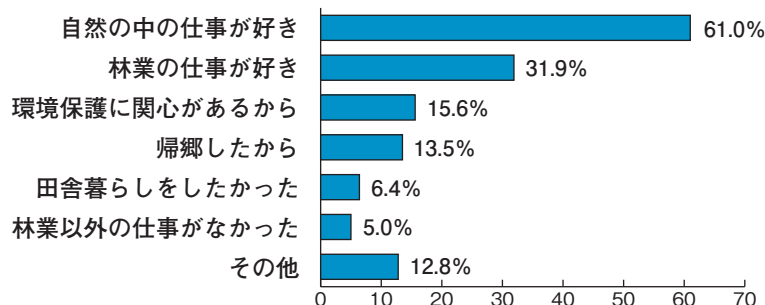


新規就業者の林業に就業した動機

- (1) 林業に就業した動機についてみると、86名61.0%の者が「自然の中の仕事が好き」と回答し、次いで、45名31.9%が「林業の仕事が好き」、22名15.6%が「環境保護に関心があるから」と回答しています。一方、「林業以外の仕事がなかった」との回答が7名5.0%となっています。



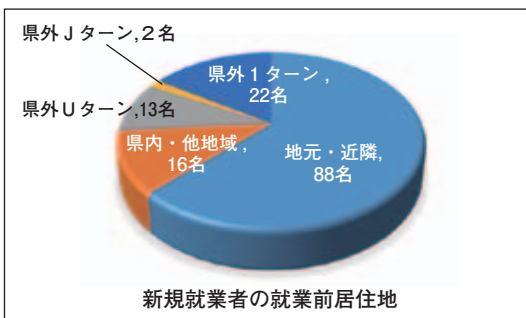
新規就業者の就業動機



新規就業者の就業前の居住地

- (1) 新規就業者の就業前の居住地についてみると、「地元・近隣」が88名62%、「県内他地域」が16名11%と、全体の約7割が現在の勤務地の近くに居住していました。

一方、県外Uターンも13名9%、県外のJターン、Iターンを合わせた人数・割合も24名17%となっており、県外から林業へ就業する人も少なくないのが現状です。



「緑の雇用」現場技能者育成推進事業について

研修の体系 (H28の体系)

研修の種類

集合研修

実地(OJT)研修

トライアル雇用

林業就業希望者が、仕事や職場にアッているか試す3ヶ月間の就業。(本格就業前)

本格採用前

実施しません

(最大3ヶ月)

(上限60日)

林業作業士(フォレストワーカー)研修

新しく林業の仕事を開始した方対象。OJT研修や集合研修を通じて、基本姿勢や基礎力を習得し、職務の能力向上を図ることで、一人前の現場技能者になる能力を身につけます。

1年目

28日程度の座学と実習

林業作業の基本

【研修中に取得する安全講習等】

- ・刈払機取扱作業
- ・伐木等の業務(チェーンソー作業)
- ・玉掛け技能講習 など

育成研修

(上限8日)

実践研修

(最大8ヶ月)

(上限140日※)
※育成研修を含め最大140日です。

2年目

29日程度の座学と実習

1年目の内容の確認・応用

【研修中に取得する安全講習等】

- ・不整地運搬車運転技能講習
- ・荷役運搬機械によるはい作業従事者
- ・機械集材装置の運転業務 など

(最大9ヶ月)

(上限160日)

3年目

21日程度の座学と実習

基礎力の向上

大型機械を使用した林業作業

【研修中に取得する安全講習等】

- ・簡易架線集材装置の運転業務
- ・伐木等機械の業務

(最大9ヶ月)

(上限160日)

現場管理責任者(フォレストリーダー)研修

作業班長候補者など経験を積み職務力がついてきた方対象。判断力・指導力向上、現場作業管理などを学び、現場での管理・責任を担える能力を身につけます。

5年以上

16日程度の座学と実習

【研修中に取得する安全講習等】

- ・造林作業の作業指揮者
- ・はい作業主任者
- ・地山掘削及び土止め支保工作業主任者

実施しません

現場管理責任者(フォレストマネージャー)研修

複数班の総括など現場全体の管理責任能力を身につけたい方対象。コミュニケーション能力向上、林業の社会的使命、企画・営業・販売などを学び、林業現場の総括責任を担える能力を身につけます。

10年以上

10日程度の座学と実習

【研修中に取得する安全講習等】

- ・安全推進者養成講習

実施しません

◎「緑の雇用」とは

「緑の雇用」現場技能者育成推進事業は、国（農林水産省）の助成事業で、改善計画の認定を受けた林業事業体（森林組合や民間の造林会社、素材生産会社等）に採用された人に対し、講習や研修によりキャリアアップを支援する制度です。

◎「緑の雇用」研修生になるには

研修生の要件は、必要な技能が身につけていない方（林業就労経験2年未満）で研修を受ける必要がある方、林業の仕事のある程度理解した上で林業に就労したい方、ハローワーク等に求職申請をするなど林業に就業活動をしている方、林業事業体に採用される方、研修終了後5年以上働ける方（60歳未満くらい）となります。

◎「実地（OJT）研修」とは

実地（OJT）研修は、雇用された事業体において、選任された指導員の資格を持つ指導員の管理・指導のもと研修を行います。本人の技術の習得度に応じて適切なスキルアップができるよう指導します。

◎「集合研修」とは

集合研修は、左表に示すような資格取得のための講習や造林・育林・間伐・メンテナンス作業などの実践実習の研修を行うものでその内容は多岐にわたります。

労働力確保支援センターが、企画運営を行っており、今年度の研修日程は次ページの図、研修生の状況は下の表のとおりです。

平成28年度 方部別「緑の雇用」研修生数等（当初）

区分	会津	中通り	浜通り	計
1年生	9	21	6	36
2年生	5	12	6	23
3年生	7	7	3	17
計	21	40	15	76
参加事業体	11	16	10	37

平成28年6月時点

◎集合研修等の平成28年度実施状況

「緑の雇用」の集合研修等の主な研修の年間実績（平成28年度）

区分	上旬	中旬	下旬
6月	指導員能力向上研修 刈払機 フェンソー	講義 造林育林 造林	講義 メテオス(刈払機フェンソー)
7月	講義 車両系木材伐出機械(学科) 走行集材のみ 健康管理・森林調査等	メテオス(刈払機フェンソー) 森林調査	育林 育林 車両系木材伐出機械(実技)
8月	木材伐出機械(走行) 玉掛け		集材機特別教育
9月	チェーンソー伐倒	小型移動式クレーン かかり木処理	フェンソー伐倒 高役運搬
10月	間伐 かかり木 低コスト化間伐 低コスト化間伐	労働災害 高性能林業機械 間伐	
11月	森林作業道 フェンソー伐倒	メテオス メテオス 森林施業	労働災害 メテオス
12月	メテオス 網罟わな罟		

※研修の名称は略称で表示してあります。日程表示はおおよその時期です。

指導員能力向上研修3日間 1年生 29日間 2年生 19日間 3年生 21日間

平成28年度からカリキュラムが変更されました。

1年生に新たに「網罟・わな罟」が追加され、2年生で車両系建設機運転技能講習・走行集材機械の運転業務の特別教育を、3年生で簡易架線集材装置の運転業務の特別教育・伐木等機械の運転業務特別教育を受講するように変更になっています。

◎写真で見る「集合研修」1年目の記録



H28.6.11 チェーンソー特別教育



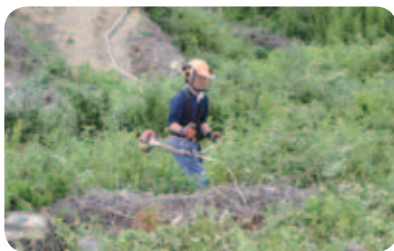
H28.7.7 コンパス測量



H28.7.12 刈払機メンテナンス



H28.7.13 チェーンソーメンテナンス



H28.7.21 育林実習



H28.10.25 安全な伐倒作業



H28.11.8 チェーンソー伐倒



H28.12.6 網罟・わな罟



H28.12.7 救急救命講習

◎写真で見る「集合研修」2年目の記録



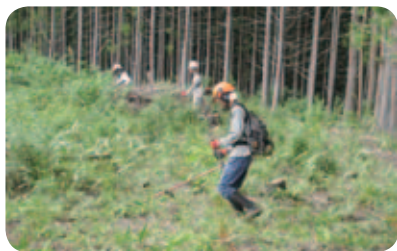
H28.6.28 刈払機メンテナンス



H28.6.29 チェーンソーメンテナンス



H28.7.14 GPS測量



H28.7.22 育林



H28.8.1 走行集材機械運転特別教育



H28.9.6 チェーンソー伐倒



H28.10.5 かかり木等処理



H28.11.22 メンテナンス



H28.12.25 走行集材機械運転業務特別教育

◎写真で見る「集合研修」3年目の記録



H28.7.26 車両系木材伐出機械特別教育



H28.9.13 安全なかかり木処理作業



H28.9.27 木材の特性



H28.10.11 低コスト化



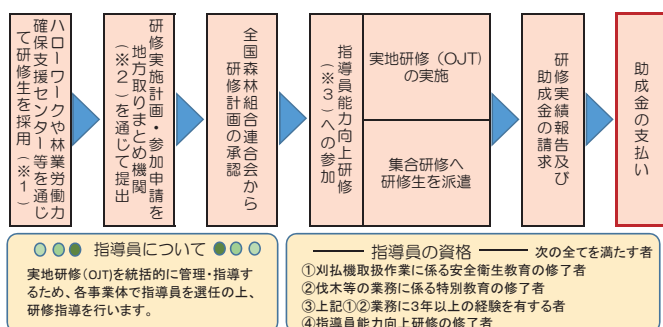
H28.11.1 森林作業道



H28.11.17 メンテナンス

◎申請から支給までの流れ (全国森林組合連合会「緑の雇用」現場技能者育成推進事業リーフレットより)

認定事業体の皆様が「緑の雇用」現場技能者育成推進事業を活用するためには、下図のようなフローにより取扱機関に申請を提出しなければなりません。具体的な研修受講の手続きは、本県では、福島県森林組合連合会、磐城林業協同組合、福島県林業労働力確保支援センターが行っています。



- ※1 トライアル雇用と林業作業士(フォレストワーカー)研修(1年目)(トライアル雇用から引き続きの場合を除く)のみ
- ※2 本県では福島県林業労働力確保支援センター、福島県森林組合連合会、磐城林業協同組合があります。
- ※3 本県では福島県林業労働力確保支援センターが行っています。

就労者のキャリア形成に向けての取り組み

林業就業者の定着を促進するためキャリア形成に必要な知識等を習得するための研修会として、「森林（もり）づくり研修会」を開催しました。

平成28年12月12日(月)、郡山市のビッグパレットふくしまプレゼンテーションルームにて、森林（もり）づくり研修会を開催しました。

昨年度に引き続き、今年度も講師として赤堀楠雄氏（林材ライター）を迎え、「らんだむとーく～取材メモから～」と題してご講演いただきました。



支援センター事務局長の挨拶



講師 赤堀楠雄 氏



研修会の様子

赤堀氏は、次の6つのテーマについて、これまでの取材で得た知識や体験をもとに、様々な事例紹介を交えながら幅広くお話いただきました。

① 日本の木の文化

- 日本人と木の関わりは歴史が古く、非常に多様。
- 伊勢神宮の御樋代木（みひしろぎ）、漆器、木地物、天然の樟脳、木の籠、割り箸等の事例紹介。
- 多様な山の恵みを生かし生業を行うこと全てが「林業」
- 間伐材＝品質を表すものではない。品質本位での利用拡大を目指すべき。

② 木材の流通と利用

- 国産の製材品（丸太等）をいかにマーケットで選ばれやすい商材にしていくかが課題。
- 材木屋、JAS規格、ツーバイフォー材、木が使われている施設（駅、図書館、新幹線、ファストフード店、ディーラー）等の事例紹介。

③ ユニークな事業体

- 企業の経営を良くする＝コストダウンや効率化だけではない。「見えない価値」を高めることが必要。
- 岐阜、広島、滋賀、九州、大阪、静岡の企業の事例紹介。
- 他業界、他産業からの学びが必要。

④ 環境問題

- バイオマス発電、イオン等大手企業の取組、カスターネッ

ト工場の事例紹介。

- 林業と自然保護をどうやってバランスさせていくかという今日は今日的な課題。森の利用と木材の利用のバランスをどうするか。

⑤ 林業と女性

- 元々、女性は山で働いていた。女性が本当の意味で働きやすくすることには課題も多い。
- 女性に限らず「個性」をどう林業で生かしていくか。個性や特性を生かした職場づくり、産業づくりという議論が必要。
- 森のようちえんの事例紹介。

⑥ 林業について

- 自伐型林業、自伐林家、吉野の山守、速水林業、林分施業法の事例紹介。
- 「利用」だけでなく「育てる」ことが重要。品質の良い丸太からしかいい製材品は作れない。集成材も同様。
- 森で経営活動を営みながら、森を良い状態に維持することが必要。森の機能が台無しになったら林業は成り立たない。そのために、様々な工夫をしながら、自分たちに何ができるかを考える仕事が「林業」。



質疑応答の様子



質問に答える赤堀さん



写真や動画により様々な事例が紹介されました

参加者からは、各地の林業者の取組を知り、様々な角度から林業を見つめ直す機会になったという声があり、有意義な研修会となりました。

林業就業支援講習(13日間)を開催

林業就業を目指す方々を対象にした林業就業支援講習を、平成29年1月10日(火)から26日(木)までの13日間の日程で開催しました。

この講習は、厚生労働省委託事業として全国森林組合連合会の委託を受けて各都道府県にて実施するもので、新たに林業への就業を希望する方(原則45歳未満の方)を対象に、下記のカリキュラムで行いました。今回の参加者は7名で、県内5名、県外2名、全員男性でした。

講習のカリキュラム

日 程	内 容	講師及び実施機関	実施場所
1 日目 (1月10日)	オリエンテーション	福島県林業労働力確保支援センター	ビッグバレット福島 小会議室2 (郡山市)
	林業と山村地域の現状について		
	主な林業樹種とその特性などの森林生態について		
	木材の育成作業と森林の管理方法について		
	森林の有する多面的機能の発揮と健全な発展について 作文(仮題)「なぜ林業の仕事希望したのか等」		
2 日目 (1月11日)	刈払機資格講習	林業労働安全協会 福島県支部	湯の岳山荘 (いわき市)
3～4 日目 (1月12日～13日)	チェーンソー資格講習	林業労働安全協会 福島県支部	湯の岳山荘 (いわき市)
5 日目 (1月16日)	救命措置(救急訓練法)	日本赤十字社 福島県支部	南東北総合センター 第8会議室 (郡山市)
	林業における労働災害の現状と安全衛生対策	林業労働安全協会 福島県支部	
6～9 日目 (1月17日～20日)	林業作業の実地講習	(有)武田林産	左記作業現場 (大玉村)
10～11 日目 (1月23日～24日)	小型車両系建設機械(3t未満)資格講習	南湖建設機械講習所 郡山講習センター	左記会場 (郡山市)
12 日目 (1月25日)	林業関係施設等の見学	福島中央木材市場 (郡木協かねざわ) 藤寿産業株 (集成材工場) フォレストパークあだ たら(ボイラー施設)	左記会場 (郡山市・大玉村)
13 日目 (1月26日)	講演「林業就業を志すために必要なこと」	五十嵐保雄	ビッグバレット福島 小会議室1 (郡山市)
	林業等進路指導・講習の総括・アンケート記入 修了者証の交付	福島県林業労働力 確保支援センター	
	林業就業者への質問相談等	菊池優子 (有)ウッド福生)	

1 日目

オリエンテーションに引き続き、林業の基礎知識として、「林業と山村地域の現状について」等について講義を受けました。



講義の状況

2 日目



刈払機資格講習(実技)

3～4 日目

チェーンソー資格の講習を2日間に渡って受講しました。

5 日目

5 日目は郡山市の南東北総合卸センター第8会議室において日本赤十字社福島県支部の講師から「救命措置(救急訓練法)」と林業労働安全協会福島県支部の講師から「林業における労働災害の現状と安全衛生対策」をそれぞれ学びました。



救命措置の講義



労働災害の現状と安全衛生対策の講義

6～9日目

6～9日目は、(有)武田林産の協力をいただき、安達郡大玉村の現場をお借りして実地研修を行いました。

作業としては、刈払機の操作、チェーンソーの操作などを講師の説明を聞きながら体験しました。



6日目の作業開始前のあいさつの様子



6日目の実地講習の様子



7日目の実地講習の様子



8日目の実地講習の様子



9日目の実地講習の様子

10～11日目

10～11日目は郡山市にある南湖建設機械講習所郡山講習センターで小型車両系建設機械（3 t 未満）資格講習を受講しました。

12日目

12日目は県内の林業関係施設等を見学しました。最初に福島中央木材市場を、次に藤寿産業株の集成材工場を、最後にフォレストパークあだたらの木質バイオマスであるペレットを使ったボイラー施設を見学しました。



福島中央木材市場の説明をうける受講生



同左の説明をうける受講生



藤寿産業株の説明を受ける



藤寿産業株の製材品の説明



フォレストパークあだたらの施設



同左ボイラー施設の説明を受ける

トピックス



製造工場撮影の様子

昨年11月に高性能林業機械のPRを行うためのDVD制作を委託しました。機械製造メーカーや林業事業体を訪問し取材を続けてきました。

今年2月末に完成予定で、皆様に視聴していただくよう鋭意制作を続けています。

ご協力をいただいた事業体等の皆様へ、この紙面を借りて御礼を申し上げます。



事業体の現場撮影の様子

13日目

初日と同じ郡山市のビッグパレットふくしま3階会議室にて、講話、相談及び13日間の総括、修了者証の交付等を行いました。

はじめに、五十嵐保雄氏による講演「林業就業を志すために必要なこと」を聴講したのち、今年度の緑の雇用FW3年生として活躍している(有)ウッド福生の菊池優子さんと当支援センター所属の林業就業支援地域アドバイザーによる林業への就業・生活相談を行い、13日間の講習の総括を行い、修了者証の交付となりました。



五十嵐保雄氏の講話



林業就業者（菊池さん）へ相談する受講生



林業就業支援地域アドバイザーの相談



修了者証交付



菊池さんと受講生の集合写真

研修生による作文（抜粋）

これまで流通業、販売業で働くことが多かった。この広大な森林を持つ福島で人生で縁のあった森林業に勤めたいと思った。

これからの林業に期待することは、大きな問題もあるが木材の活性化、きのこ復興改革、太陽エネルギーを拡大しながらの森林整備等を考える。森林林業に就職するにあたっての心構えとして、山は広大で大自然であるがゆえ危険リスクも伴うので仕事にあってもしっかりと人材確保・育成、チームワークを活かすことが必要。いつでもどこでも、仕事は人のなす事であり、使命感責任感を持ち、皆で達成感を分かち合い、それで地域の方々、家族の慶びを幸いとして仕事ができればこの上ない喜びです。

(40歳代・男性)

林業に就業する理由は3つあります。1つは、自然の中で体を動かす仕事が自分には適していると思ったこと。工場で働いて毎日同じ簡単な作業の繰り返しに耐えきれず、別な外で体を動かす仕事に転職した際合っていると感じたこと。2つ目は、やりがいのある誇りを持てる仕事だと思ったからで、季節毎に作業が変わり、森林を整備することで地球温暖化対策にもなり、土砂災害を減らすこともできること。3つ目は、自分自身が成長したいからで、過酷な作業や環境で自分を鍛える事ができると思ったこと。

これからの林業に期待することは2つあります。1つは就業者が増えることです。就業者が増えれば地方に住む人が増え、地域おこしになるからです。2つ目は林業という仕事をもっとアピールしてほしいこと。高校生の時、進路を決める際、林業があることを知らなかった。土木や工場の仕事は身近にあったが林業は無いため、進路の選択にありませんでした。林業や地方に暮らすことの魅力をもっとアピールしてほしい。林業を知るきっかけは「ウッジョブ」という映画です。この映画で林業の魅力を知り、興味を持ちました。今回の講習で実際に体験してみても林業が自分に合っているか判断したいと思っています。

(20歳代・男性)

ある日の朝食時、テレビから「宝の山」という言葉が聞こえてきました。それは製材会社の社長さんのインタビュー時に出た言葉でした。その後、さらに「CLTでビルを建設」と聞き慣れない英語も登場し「宝の山」と相まって後々も気になりインターネットで調べてみる事になりました。CLTは木材を重ね合わせて集合接着させた建材でヨーロッパ各国では既に普及し高層建築にも使用され日本でも注目されている「モノ」だと知り、宝の山という言葉が出たのはCLTが日本で普及すれば材料としての木材が注目され、現在荒れ果てている森林も整備され、以前のように「宝の山」と呼ばれるようになる、ならなければならないという興味深いものでした。私は、15年ほど前に花粉症を発症し、正直、森林を迷惑な「モノ」としか見ていませんでした。林野庁が花粉の少ない品種改良した苗木の普及を行い新しい森林への転換に取り組んでいるのは知っていましたが、闇雲に伐採するわけにもいきません。しかしCLT材料としての木材が注目され、需要と供給のバランスが整えば森林の整備も進み花粉の少ない森林への転換も早まるのではないかと思います。

現在、建設が進められている新国立競技場は木材を多く使用したデザインで進められています。2020年へ向けて木材が注目され、CLT等を使用した建築物が増加すれば広く林業も知られるようになり活性化されると期待しています。

(40歳代・男性)

昨今、環境破壊や大気汚染問題など様々な地球環境問題や里山、森林に人の手が入らない地域などもあり、荒れてしまっているのが問題となっている。森林の整備や林業は私たちの生活に非常に密接で、とくに身近な問題で、未来に責任もって引き継がなくてはならないと思います。森林・林業に就業するにあたっての心構えは、最初は皆ゼロからのスタートなので私もゼロからスタートしてみたいと思ったからです。

最初は就業支援を知って応募して、資格が取れるということしか興味がなかったが、去年開催された4日間講習に参加してからずっとパソコンや雑誌や映画など何度目も見ても調べるようになり、とても興味がわきました。森林・林業に就業するにあたっては、自然の中での厳しい仕事であるには違いますが、今まで以上に細心の注意や意識を持って取り組まなくてはならないと考えています。森林・林業に高い意識を持って就業し、1日でも早く森林・林業の力になりたいと考えています。

(30歳代・男性)

我が町でも戦後復興期に植えられた木が伐採期にあるものの、林業者がいなかったため山が荒れる原因となっています。実のなる木が育たず、針葉樹ばかりになった結果、獣が餌を求めて人の住む里まで下りてきて、田畑を荒らすようにもなりました。その結果、田畑が荒れ放題となり雑草繁茂で美観が損なわれています。林業は、農業の問題と相まって、環境の面からしても大きな問題となる筈です。林業が衰退した影響で自然破壊・環境問題が進んでいます。その現状を憂い、その防止に少しでも役に立ちたいと思っています。それと同時に林業の復活が地域創生の一翼を担うことにも期待しています。林業と農業、輸入したものではなく国産の安心・安全なものを作り流通させることで本当の豊かさの実現にもなるはずです。

(20歳代・男性)

1年間ほど、山に囲まれた土地で暮らしてきました。そこで私は、農作業や小屋づくりに動んできました。

そこで過ごして、自然の中で暮らすには、様々な技能が必要であるということを感じました。例えば刈り払い機を使わなければ、草は伸びる一方、薪がなければ冬は過ごせない。薪を作るには木を切らなければならない。当然チェーンソーが必要になる。ところで先日、林業の仕事をする知人の許で、伐採の手伝いをさせていただく機会がありました。伐採の現場に立ち会ったのは初めてでした。木の切り方のいろはなどを教えてくださり、林業の難しさを知りましたが、同時に奥深さや、職人的な姿に憧れを感じました。それがきっかけで、将来的に林業関係の仕事に携わりたいことを本格的に考えるようになりました。

(20歳代・男性)

少し調べただけで林業というものが重労働だという事がわかります。その重労働を少しでも良くするには、3つが大事なことを考えます。日々の体調管理では、ふとした事で命を落としてしまうので健康には気をつけたい。使ってる道具の手入れでは、破損して怪我をしないよう、効率よく作業をすることは、疲れないために大事。どのようにすれば安全かつ効率よく作業をすることができるかを考える力や周りや作業仲間を見ることでは周りに危険がないか作業仲間が危険な行為をしていないかを確認することです。

(20歳代・男性)

「森林の仕事ガイダンス2017」に参加

全国森林組合連合会主催で、林業に関心のある方に、森林の仕事を紹介する「森林の仕事ガイダンス2017」が、平成29年2月4日(土)、東京都の東京国際フォーラムにおいて開催されました。

今年度も、都道府県ごとにスローガンを掲げ、本県は『平成30年全国植樹祭が福島県で開催！元氣な森林を後世に伝えるために、あなたの力を！』のもとに、本県ブースに来られた方々に説明や相談等を行いました。

大阪に引き続いての東京会場には、35都道府県の相談ブースが設けられ、主催者発表で1,108名の相談者が訪れました。

本県では28名の相談があり、本県の概況や森林林業の特徴・現状・課題、認定林業事業体数や採用予定の状況・インターネットハローワークの求人情報等について情報を提供し、本県への就労を勧誘しました。なお、相談者の内訳は男性26名、女性2名でした。全員が東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県の関東圏の相談者でした。年齢も20代30代で20名と大半を占めたのが特徴でした。相談の中で印象的だったのは、相談者の両親親族が福島県出身で、ゆかりのある福島県の林業の情報を聞きたい、就業してみたいという相談があったことでした。

なお、ガイダンスでは、オリエンテーションコーナー、全国森林組合連合会の相談ブース、緑の研修生交流ブースやハローワーク相談ブース、チェーンソーや防護衣、防護靴などの展示、各県の大学校や情報誌の配布コーナーなどに沢山の方々が訪れていました。

また、「緑の研修生によるトークショー」では実際の緑の研修生（今年は、北海道のフォレストワーカー1年生3名、京都府のフォレストリーダー1名、鳥取県のフォレストワーカー1年生3年生各1名で6名の内5名が女性）がステージに登壇し、進行役の葛城奈海さんの問いかけに、自身の経験や感想をわかりやすく答えていました。



オリエンテーションコーナー



本県ブースの相談状況



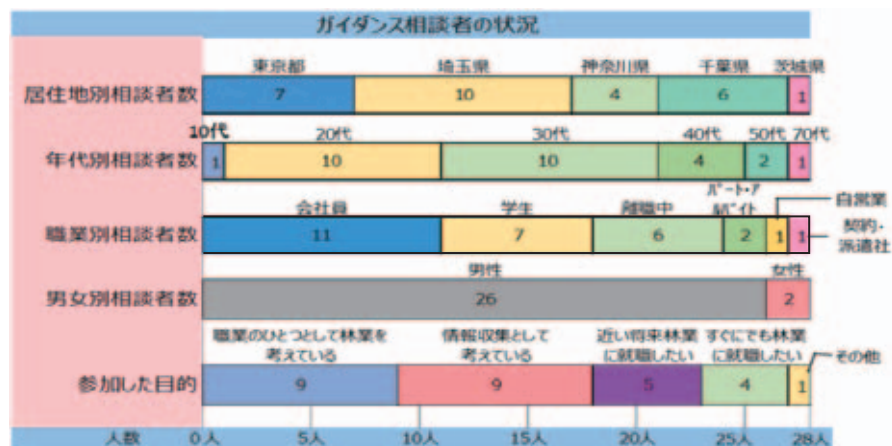
緑の研修生トークショー（進行：葛城奈海さん）



緑の研修生交流コーナーの状況



展示コーナーの状況



森林作業道作設研修会を開催

森林・林業に意欲と技術力を有する優れた担い手の育成・確保を支援するため、各種取り組みを通じて森林・林業に関する情報を提供するための事業を実施しています。

平成22年度から始まったこの研修は平成28年度までで延べ198人の方が受講しました。なお、今回のフォローアップ研修は、修了すると「緑の雇用」現場技能者育成推進事業で作業道作設で研修生を指導できるようになります。

区 分	初級研修	放射性物質対処型研修	フォローアップ研修	指導者研修	延べ人数	実人数
県 北	7	1	0	1	9	9
県 中	27	6	18	6	57	38
県 南	19	8	21	3	51	32
会 津	15	0	4	3	22	15
南会津	3	0	0	1	4	4
相 双	8	4	6	0	18	13
いわき	16	7	12	2	37	24
計	95	26	61	16	198	135

注) 実施年度：初級研修はH22～H24、H28
放射性物質対処型研修はH25
フォローアップ研修はH22～H24、H26～H28
指導者研修はH22～H25

森林作業道作設研修会（フォローアップ研修）1回目

平成28年11月29日から12月2日までの4日間で研修を行いました。開催場所は、石川郡石川町大字中田字十文字地内で受講生は7名でした。講師は、(一社)フォレスト・サーバイ 齋藤興 氏、真名畑林業(有)の草野一明 氏（1班）、(有)豊田林業の豊田新一 氏（2班）にお願いし、ご指導をいただきました。



2日目：1班の作設状況



2日目：2班の作設状況



2日目：1班2班合同の丸太組工施工状況



3日目：座学の状況



3日目：既設森林作業道の降雨時の状況検証



4日目：1班の作設完了状況



4日目：2班の作設完了状況



4日目：講師を交えての意見交換会



4日目：受講生と講師

森林作業道作設研修会（フォローアップ研修）2回目

平成29年1月17日から1月20日までの4日間で2回目のフォローアップ研修を行いました。開催場所は、いわき市田人町旅人前山国有林地内で受講生は4名でした。講師は、(一社)フォレスト・サーベイ齋藤興氏、(有)豊田林業の豊田新一氏にお願いし、ご指導をいただきました。



1日目：齋藤氏による座学



1日目：路線調査



2日目：丸太組工施工



3日目：路盤整形



3日目：切土・盛土



3日目：丸太組工施工



4日目：丸太水切排水溝施工



4日目：講師を交えての意見交換会



4日目：受講生と講師

トピックス

〈福島県チェーンソー選手権で緑の雇用研修生が活躍〉



玉切りを行う緑の雇用研修生（2年目）と審査員

平成28年10月22日、郡山市の林業研究センターにおいて、第7回福島県チェーンソー選手権が開催されました。受賞者の中には、緑の雇用の研修生も含まれており、日ごろの研修成果が発揮されました。成績は右記のとおりです。

〈個人総合〉			
優勝	東白川郡森林組合	秋山 健人	
準優勝	いわき市森林組合	渡會 礁	
第3位	千葉製材所	四釜 誠	
〈合わせ玉伐り〉			
優勝	相馬地方森林組合	目黒 和男	
準優勝	いわき市森林組合	大井川 光良	
第3位	千葉製材所	四釜 誠	
第3位	いわき市森林組合	渡會 礁	
〈精密玉伐り〉			
優勝	いわき市森林組合	渡會 礁	
準優勝	東白川郡森林組合	秋山 健人	
第3位	常磐林業株式会社	中村 滝一	
〈玉伐りタイムトライアル〉			
優勝	東白川郡森林組合	秋山 健人	
準優勝	ふくしま中央森林組合石川事業所	圓谷 隆夫	
第3位	〃	本郷 剛臣	

平成29年度 認定事業体現場作業員採用計画

H29. 1. 25現在

認定事業体名	所在市町村	採用 予定 者数	雇用 形態	採 用 条 件		職 種				採 用 地 域	備考
				年 齢	資 格	造林	保育	素材 生産	重機 オペレーター		
安田林業(株)	大 玉 村	2	常用	40歳以下	普通自動車免許		●	●	●	地域を問わない(県内)	
吾妻造林(有)	福 島 市	1	常用	問わない	普通自動車免許	●	●	●	●	通勤範囲	HP有
郡山市森林組合	郡 山 市	2	常用	問わない	普通自動車免許		●			地域を問わない(県内)	
田村森林組合	田 村 市	5	常用	50歳以下	問わない		●	●		地域を問わない	
(有)大須賀林業	天 栄 村	2	常用	50歳以下	刈払機・チェーンソー	●	●	●		通勤範囲	
(有)水野林興	古 殿 町	4	常用	40歳以下	普通自動車免許		●	●		地域を問わない	HP有
(有)鈴木商事	古 殿 町	15	調・調・補	問わない	普通自動車免許	●	●	●	●	通勤範囲	
(有)松崎産業	平 田 村	2	常用	50歳以下	普通自動車免許		●	●	●	通勤範囲	
ふくしま中央森林組合	小 野 町	4	常用	問わない	普通自動車免許	●	●	●	●	通勤範囲	
(株)クライス	田 村 市	10	常用	問わない	問わない	●	●	●	●	地域を問わない	
(有)ウッド福生	塙 町	3	常用	60歳以下	普通自動車免許	●	●	●		地域を問わない	HP有
㈱ミツマグリーンプロジェクト	白 河 市	4	常用	35歳以下	普通自動車免許			●	●	通勤範囲	HP有
(有)東白林業	棚 倉 町	3	常用	40歳以下	普通自動車免許	●	●	●	●	地域を問わない	
東白川郡森林組合	棚 倉 町	2	常用	40歳以下	普通自動車免許			●	●	地域を問わない	HP有
(有)本郷林業	鮫 川 村	4	常用・季節	55歳以下	問わない	●	●	●		地域を問わない	
(有)田部林業	矢 祭 町	3	常用	45歳以下	問わない			●		地域を問わない	
(有)スズキ木材	棚 倉 町	2	常用	40歳以下	普通自動車免許	●	●	●	●	地域を問わない(県内)	
(有)いしぐろ	塙 町	1	常用	45歳以下	普通自動車免許			●		通勤範囲	
(株)池田林業	塙 町	3	常用	40歳以下	普通自動車免許			●	●	通勤範囲	
(有)陣野林業	棚 倉 町	3	常用	50歳以下	普通自動車免許	●	●	●	●	通勤範囲	
真名畑林業(有)	塙 町	3	常用	50歳以下	普通自動車免許	●	●	●	●	通勤範囲	HP有
(有)川島林業	会津美里町	2	常用	問わない	問わない	●	●			通勤範囲	
(有)六和林業	猪 苗 代 町	1	常用	50歳以下	刈払機・チェーンソー			●		通勤範囲	
(有)佐藤林業	会津若松市	1	常用	問わない	普通自動車免許	●				通勤範囲	HP有
栗城林業(株)	会津美里町	6	常用	50歳以下	普通自動車免許・刈払機・チェーンソー	●		●		通勤範囲	
会津北部森林組合	喜 多 方 市	3	常用	問わない	問わない		●			通勤範囲	
佐藤造林	南 会 津 町	5	常用・臨時	問わない	問わない		●	●		通勤範囲	
只見町森林組合	只 見 町	10	季節	70歳以下	普通自動車免許・刈払機・チェーンソー		●	●	●	通勤範囲	
(株)ヤマシ	只 見 町	2	常用	問わない	問わない		●	●		地域を問わない	
吉田林業(株)	葛 尾 村 (郡山市)	2	常用	40歳以下	普通自動車免許			●		地域を問わない	
松山林業(有)	相 馬 市	1	常用	問わない	問わない	●	●	●	●	地域を問わない	
(有)志賀林業	川 内 村	3	常用	65歳以下	問わない			●	●	地域を問わない	
双葉地方森林組合	富 岡 町 (三春町)	4	常用	35歳以下	普通自動車免許	●	●	●	●	通勤範囲	
NPO 法人自然環境応援団	南 相 馬 市	6	常用	問わない	問わない		●	●	●	地域を問わない	HP有
(有)中川木材	南 相 馬 市	1	常用	60歳以下	刈払機・チェーンソー			●		通勤範囲	
(有)鈴木林業	南 相 馬 市	1	常用	40歳以下	普通自動車免許・刈払機・チェーンソー			●		通勤範囲	
常磐林業(株)	い わ き 市	2	常用	50歳以下	普通自動車免許	●	●	●	●	通勤範囲	
(有)平子商店	い わ き 市	2	常用	50歳以下	普通自動車免許	●	●	●		地域を問わない	HP有
(有)丸信林業	い わ き 市	1	常用	40歳以下	普通自動車免許	●	●	●	●	通勤範囲	
(有)井出林業	い わ き 市	2	常用	問わない	問わない	●	●			通勤範囲	
(有)豊田林業	い わ き 市	1	常用	問わない	問わない	●	●	●	●	通勤範囲	
(有)近野林業	い わ き 市	1	常用	45歳以下	普通自動車免許	●	●	●		通勤範囲	
國生興産(有)	い わ き 市	3	常用	30歳以下	問わない	●	●	●	●	地域を問わない	
磐城造林(株)	い わ き 市	4	常用	35歳以下	問わない	●		●		通勤範囲	HP有
(有)松本林業	い わ き 市	1	常用	57歳以下	普通自動車免許		●	●	●	通勤範囲	HP有
(株)長山	い わ き 市	2	常用	問わない	普通自動車免許			●	●	地域を問わない(県内)	
計 46事業体		145				24	32	41	24		

注1) 職種は、造林：地拵え・植付、保育：下刈・枝打ち・つる切り・除伐・保育間伐、素材生産：間伐・主伐、オペレーター：林業機械運転者

注2) この資料は、認定事業体を対象にアンケートをしたもので、支援センターだよりに「掲載可」とした事業体の情報を掲載しています。

注3) ホームページを開設している事業体で「ホームページ有の記載可」とした事業体には備考欄に「HP 有」と表示しています。

注4) 採用条件などは、ハローワークで求人を出されたもので確認してください。

福島県認定事業体一覧表(流域別)

H28.12.31現在

番号	事業体の名称	所在地	TEL
阿武隈川流域			
1	福島県北森林組合	福島市岡部字前田137-1	024-534-9015
2	吾妻造林(有)	福島市町庭坂字湯町17	024-591-1322
3	(有)武田林産	二本松市小関105	0243-24-2819
4	安田林業(株)	安達郡大玉村大山字宮ノ前21	0243-68-2220
5	郡山市森林組合	郡山市逢瀬町多田野字本郷228	024-957-2850
6	(株)アメリカ屋	郡山市田村町徳定字下河原58	024-944-4990
7	田村森林組合	田村市常葉町西向字堂ヶ入62-7	0247-67-1101
8	(株)クライス	田村市常葉町西向字中97-1	0247-61-5187
9	(有)大須賀林業	岩瀬郡天栄村大字牧之内字惣五郎4	0248-29-8613
10	(有)星林業	岩瀬郡天栄村大字田良尾字鹿野3	0248-84-2307
11	(有)阿武隈環境メンテナンス	石川郡玉川村大字岩法寺字下竹ノ内36-6	0247-57-4111
12	(有)松崎産業	石川郡平田村大字永田字堂作112-3	0247-55-2076
13	(有)関根農林	石川郡平田村大字西山字川向1	0247-54-2313
14	(有)水野林興	石川郡古殿町大字大久田字越代139	0247-53-3860
15	(有)鈴木商事	石川郡古殿町大字松川字小名沢1	0247-53-3174
16	ふくしま中央森林組合	田村郡小野町大字小野新町字知宗59-2	0247-71-0755
17	(株)ミヤマグリーンプロジェクト	白河市大信下新城字北山61-1	0248-54-5115
18	大屋林業(有)	白河市大信戸字赤仁田1-111	0248-46-3591
19	白米林業企業組合	白河市字会津町93-8	0248-29-8991
20	西白河地方森林組合	白河市市旭町1-242	0248-24-1037
奥久慈流域			
21	(有)東白林業	東白川郡棚倉町大字棚倉字中居野179-1	0247-33-6939
22	東白川郡森林組合	東白川郡棚倉町大字棚倉字南町100-2	0247-33-2161
23	(有)陣野林業	東白川郡棚倉町大字北山本字居伝金288	0247-33-5153
24	(有)スズキ木材	東白川郡棚倉町大字戸中字川前217	0247-35-2324
25	(有)田部林業	(戸塚事務所) 東白川郡矢祭町大字戸塚字太子沢21-3	0247-57-5675
26	協和木材(株)	東白川郡塙町大字西河内字鶴巻田10	0247-43-0272
27	(有)いしぐろ	東白川郡塙町大字塙字宮田町16-8	0247-43-2940
28	真名畑林業(有)	東白川郡塙町大字植田字森戸68-1	0247-43-3331
29	(有)ウッド福生	東白川郡塙町大字片貝字兔田44	0247-42-2409
30	(株)池田林業	東白川郡塙町大字那倉字矢塚1	0247-42-2427
31	(有)本郷林業	東白川郡鮎川村大字赤坂東野字戸草238-1	0247-49-2420
32	(有)諸橋林業	東白川郡鮎川村大字赤坂東野字戸草23-2	0247-49-2422
会津流域			
33	会津若松地方森林組合	会津若松市城前2-3	0242-26-2355
34	(有)佐藤林業	会津若松市湊町大字原字高坂153	0242-96-1370
35	会津北部森林組合	喜多方市市舞台田3128-8	0241-22-1136
36	(有)斉藤造林	喜多方市熊倉町雄国字八木沢道中乙562	0241-25-7021
37	(株)ノーリン	喜多方市慶徳町山科字宮前4780-7	0241-24-2300
38	西会津町森林組合	耶麻郡西会津町尾野本字樋ノ口原乙1460	0241-45-2779
39	(有)六和林業	耶麻郡猪苗代町大字磐里字島田1955	0242-62-3072
40	栗城林業(株)	大沼郡会津美里町字東川原3250	0242-54-7100
41	会津西部林業(有)	大沼郡会津美里町吉田字村中甲173	0242-53-2408

番号	事業体の名称	所在地	TEL
42	10 (有)川島林業	大沼郡会津美里町東尾岐字村中乙10948	0242-53-2701
43	11 (有)共和林業	南会津郡下郷町大字大内字沼山488	0241-68-2915
44	12 下郷町森林組合	南会津郡下郷町大字豊成字下モ6276	0241-67-3310
45	13 (株)ヤマシ	南会津郡只見町大字小川字下村79	0241-84-2573
46	14 只見町森林組合	南会津郡只見町大字只見字町下2591-30	0241-82-3120
47	15 和泉田造林組合	南会津郡南会津町和泉田稲場5542	0241-73-2330
48	16 佐藤造林	南会津郡南会津町静川字風下甲45	0241-62-2766
49	17 南会津森林組合	南会津郡南会津町針生字下宮238	0241-64-5071
50	18 (株)館谷工務所	南会津郡南会津町松戸原223	0241-78-2224
51	19 山星林業(株)	南会津郡南会津町田島字田部原159-5	0241-62-3139
磐城流域			
52	1 松山林業(有)	相馬市東玉野字町裏139-1	0244-34-2108
53	2 特定非営利活動法人自然環境保護	南相馬市鹿島区上板窪字瀬ノ沢20-1	0244-26-3917
54	3 (有)国見グリーンパワーズ	南相馬市原町区大原字阿弥陀堂28	0244-23-4923
55	4 相馬地方森林組合	南相馬市原町区錦町1-34	0244-22-0831
56	5 (有)鈴木林業	南相馬市原町区南町3-53	0244-23-2366
57	6 千葉製材所	南相馬市原町区牛来字穴田42-1	0244-22-8111
58	7 (有)中川木材	南相馬市原町区中太田字天狗田95-25	0244-23-4830
59	8 双葉地方森林組合	(暫定事務所) 田村郡三春町大字芹ヶ沢字深作130-2	0247-73-8070
60	9 (株)緑樹	双葉郡川内村大字上川内字町分314	0240-25-8806
61	10 (有)志賀林業	双葉郡川内村大字下川内字道ノ下30	0240-25-8484
62	11 (有)浪江愛林	双葉郡浪江町大字川添字南大坂57-12	0240-34-5259
63	12 吉田林業(株)	双葉郡葛尾村大字落合字大放100	024-983-7286
64	13 (有)ハヤマ森業	相馬郡飯館村八木沢字上八木沢110	0244-42-0102
65	14 (有)丸信林業	いわき市川前町下桶売字荻91	0246-48-4878
66	15 國生興産(有)	いわき市小川町柴原字桐ヶ岡48	0246-83-0731
67	16 (有)中崎林業	いわき市小川町塩田字尾ノ内127	0246-83-1864
68	17 いわき愛林(株)	いわき市小川町上小川字片石田111-1	0246-83-2560
69	18 (有)松本林業	いわき市小川町関場字前田78	0246-83-0548
70	19 いわき市森林組合	いわき市平字正内町107-3	0246-23-1599
71	20 (株)長山	いわき市遠野町深山田字新田62-1	0246-89-3999
72	21 遠野興産(株)	いわき市遠野町根岸字石田44-3	0246-89-2172
73	22 (有)平子商店	いわき市遠野町入遠野字白鳥132	0246-89-2066
74	23 常磐林業(株)	いわき市泉町下川字田宿187	0246-56-1222
75	24 (有)井出林業	いわき市田人町貝泊字井出102	0246-62-4590
76	25 (有)豊田林業	いわき市田人町旅人字前山1	0246-68-3021
77	26 (有)近野林業	いわき市勿来町大高応時1	0246-65-2974
78	27 磐城造林(株)	いわき市勿来町関田宮前36	0246-65-4141

注) 番号は、流域ごとに、市役所・町村役場一覧の順に表示しています。

【認定林業事業体とは】

林業労働者を雇用して、造林、保育、伐採その他の森林施業を行い、改善の計画を履行する意欲と能力を有する事業者が、「福島県林業事業体改善計画認定要領」に基づき「雇用管理の改善と事業の合理化についての計画(改善計画)」(5年間)を作成・申請し、県知事の認定を受けると認定事業体になります。

福島県認定事業体位置図(流域別)



認定事業体名一覧

H28. 12. 31現在

No.	名 称	No.	名 称	No.	名 称	No.	名 称	No.	名 称
阿武隈流域		奥久慈流域		会津流域		磐城流域(相双)		磐城流域(いわき)	
1	福島県北森林組合	21	(有)東白林業	33	会津若松地方森林組合	52	松山林業(有)	65	(有)丸信林業
2	吾妻造林(有)	22	東白川郡森林組合	34	(有)佐藤林業	53	特定非営利活動法人 自然環境応援団	66	國生興産(有)
3	(有)武田林産	23	(有)陣野林業	35	会津北部森林組合	54	(有)国見グリーンパワーズ	67	(有)中崎林業
4	安田林業(株)	24	(有)スズキ木材	36	(有)斉藤造林	55	相馬地方森林組合	68	いわき愛林(株)
5	郡山市森林組合	25	(有)田部林業	37	(株)ノーリン	56	(有)鈴木林業	69	(有)松本林業
6	(株)アメリカ屋	26	協和木材(株)	38	西会津町森林組合	57	千葉製材所	70	いわき市森林組合
7	田村森林組合	27	(有)いしごろ	39	(有)六和林業	58	(有)中川木材	71	(株)長山
8	(株)クライス	28	真名畑林業(有)	40	栗城林業(株)	59	双葉地方森林組合	72	遠野興産(株)
9	(有)大須賀林業	29	(有)ウッド福生	41	会津西部林業(有)	60	(株)緑樹	73	(有)平子商店
10	(有)星林業	30	(株)池田林業	42	(有)川島林業	61	(有)志賀林業	74	常磐林業(株)
11	(有)阿武隈環境メンテナンス	31	(有)本郷林業	43	(有)共和林業	62	(有)浪江愛林	75	(有)井出林業
12	(有)松崎産業	32	(有)諸橋林業	44	下郷町森林組合	63	吉田林業(株)	76	(有)豊田林業
13	(有)関根農林			45	(株)ヤマシ	64	(有)ハヤマ森業	77	(有)近野林業
14	(有)水野林興			46	只見町森林組合			78	磐城造林(株)
15	(有)鈴木商事			47	和泉田造林組合				
16	ふくしま中央森林組合			48	佐藤造林				
17	株式会社マグリーンプロジェクト			49	南会津森林組合				
18	大屋林業(有)			50	(株)館岩工務所				
19	白栄林業企業組合			51	山星林業(株)				
20	西白河地方森林組合								

発行：公益社団法人 福島県森林・林業・緑化協会
 福島県林業労働力確保支援センター
 〒960-8043
 福島県福島市中町5番18号(林業会館内)
 TEL 024-521-3270
 FAX 024-521-3246
 メール fukusien@violin.ocn.ne.jp
 ウェブサイト <http://www.fukurin-net.jp/?cat=3>



平成29年2月発行